

別紙

令和7年度 新潟県立新潟商業高等学校 オーストラリア語学研修 事業委託プロポーザル仕様書

- 1 **旅行の目的** 現地(オーストラリア)の高校での授業やホストファミリー等との交流など、異文化に直に触れ、国際社会に対応できる生徒の育成を目指す。
- 2 **旅行期間** 令和7年7月25日(金)以降、8月11日(金)までの間に、14泊15日程度
- 3 **旅行先** オーストラリア 英語を母国語とする日本人学生の受け入れを可能としている都市とする
- 4 **参加人数(予定)** 50名(生徒 48名、引率教員 2名)
- 5 **予算** 生徒1人あたり 550,000円程度(税込み、事前・事後研修費用を含む)

6 旅行企画について

[1] 必修条件

- ①当該地域での事故・病気・トラブルなどへのサポート体制が充実していること。
- ②当該地域の治安状況がよく、安全面についての心配が無いこと。
- ③ホームステイを8～9日は最低でも実施すること。(予算の関係で期間は相談可能)
- ④現地学生と交流できるようにすること。
- ⑤事前研修、事後研修も十分行えること。

[2] ホームステイについて

- ①ホームステイの形態と、現地での体験活動内容について、詳しく提案すること。
- ②ホストファミリーの決定時期と、トラブル等があったときの対応についても提案すること。
(ホストファミリーのチェンジの仕方も含めること)
- ③ホストファミリーと学校のバディは、同じかどうかを提案すること。
(同じ場合と違う場合のメリットやデメリットもそれぞれ挙げること)
- ④週末は、ホストファミリーと過ごす形態にすること。

[3] 希望する活動について

- ①ホームステイ(生徒1人に1家庭、あるいは生徒2人に1家庭を希望)
- ②現地学校での体験授業(学校訪問をし〈高校生にはこだわらない〉、バディとともに授業に参加する。または、日本文化のプレゼンテーションをする。)
- ③語学研修(レベル別英会話授業や、異文化理解のための授業など)
- ④現地学校生徒との交流会
- ⑤体験活動(地域訪問やレクリエーション、異文化体験・国際交流などの教育活動)
- ⑥事前研修、事後研修(英語学習、国際及び現地理解に関する研修、生徒と保護者へのオリエンテーション、現地交流校生徒数名との、オンラインや電子メールによる交流、研修報告書の作成など)

[4] その他

- ①上記仕様以外に、提案業者独自の付加価値・サービスを提案すること。
- ②渡航までの事前研修の内容、回数などについても、できるだけ詳しく提案すること。
- ③感染症等拡大により予定通り渡航できなくなった場合は、キャンセル料がかからないよう、旅行を延期、あるいは中止すること。
- ④旅行を延期する場合は、学校と予定を調整しながら、令和7年3月末までに実施すること。
- ⑤海外研修に参加しない生徒に対応するため、日本国内での語学研修案を、最低1案提案すること。その際の旅行期間は令和7年7月28日～令和7年8月11日までとし、研修日数は2泊3日程度とする。